

～いつもの商品を、大切なあの人へお届けします！～

名前が
決まりました！

PaL

まごころ便



離れて暮らすご家族へ、安全安心なコープ商品を送りたい。そんな組合員さんの想いから新しい配送サービスがスタートします。その名も“まごころ便”！組合員さんの大切な人を想うまごころを商品と一緒にお届けします。

まずは「専用注文書」をお取り寄せください

まごころ便のご利用には専用注文書が必要です。

専用注文書は、2月3回（1月30日～2月3日配布）の注文書より毎回の注文番号でお申し込みいただけます。



OCR注文書の「4ケタ・6ケタ記入欄」に【001430】と記入し、配送時にご提出ください。（1と記入すると10枚届きます）

お届けできる商品

冷凍商品・常温商品

お届けできない商品

野菜・くだもの・冷蔵商品・ビン類・賞味期限7日以内の商品・食品以外（日用品、雑貨品、衣料品など）抽選商品・予約商品・翌週届け以外の商品

商品の注文は3月2回～受付スタート！

注文方法、配送料を含めた詳しい情報は、お届けする専用注文書に記載させていただいております。

♥名前をご応募いただいたみなさん、ありがとうございます。抽選結果は、プレゼントの発送をもって替えさせていただきます♥



ホームページからも専用注文書のダウンロードができます。
http://www.palcoop.or.jp/shopping/deliver/magokoro.html

2月は（大阪府からのお知らせ） 生活排水対策推進月間

川などの水の汚れの原因の約8割がトイレや台所、お風呂、洗濯など日常生活から出る「生活排水」です。この生活排水の影響は、河川流量が減少する冬期に大きくなります。

大阪府では2月を「生活排水対策推進月間」とし、ご家庭からの生活排水をできるだけ汚さずに流すための工夫を呼びかけています。

みなさんに心がけてほしいこと！！

- ◆食器や鍋の汚れは、紙などで拭き取ったり、ヘラでかき取ってから洗いましょう。
- ◆味噌汁、スープ、飲み物などは必要な分だけつくり、残り物を流さないようにしましょう。
- ◆油は使い切る工夫をし、捨てる場合は、流しに流さずに新聞紙に吸い込ませたり、固形化するなどしましょう。
- ◆石けん、洗剤、シャンプーなどは適量を使いましょう！

大阪府広報担当副知事
もずやんと家族



下水道や合併浄化槽等を利用していても、これらの取組は、処理施設への負担を減らすためにも有効です。

大阪府環境農林水産部 環境管理室 TEL 06-6210-9585

【大阪府の生活排水対策に関するホームページはこちら】

生活排水をきれいにしよう

検索

http://www.pref.osaka.jp/kankyohozen/sei-hai/

ユニセフ募金にご協力をお願いします

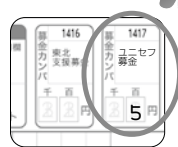


～組合員のみなさまのご支援によって、
子どもたちの未来の可能性は広がっています～

今世界では安全な水やワクチンがないため、590万人もの子どもたちが5歳の誕生日を迎えられずに命を落としています。直接の死因は肺炎や下痢ですが、多くは栄養不良による免疫力の低下や体力が原因です。

おおさかパルコープは「平和な世界と子どもたちのしあわせ」を願って、ユニセフ募金活動をすすめています。500円の募金で、子どもたちの免疫力を高めるカプセル錠が500錠購入できます。

2月2回の注文書（1月23日～1月27日配布）より募金を受け付けています。（2月4回注文書まで）先週配布の別チラシもご覧ください。



パルコープが昨年2月に行なった「ユニセフ募金」でお預かりした148万8695円（内ミャンマー指定120万円）は、ユニセフの国内委員会である「日本ユニセフ協会」へ全額お送りしました。

- ◆東北応援バス
年間4回（春休み・GW・夏休み・9月連休）
※第1回目の募集はこのページの右下参照。
以降は随時はるタイムにてご案内します
- ◆東北スタディ研修“民泊”
年間3回（夏休み2回・11月連休）

詳しくは
今週配布の別チラシを
ご覧ください



NO.84

被災者に寄り添い、
絆をつなげる支援活動を

2011年から6度目の新年を迎えました。

被災地の移り変わりと共に、改めて当事者の岩手の方々とボランティア参加された組合員さんから教えてもらったことを振り返りました。1つは悔しい。2つはありがとう。そして微力は無力でないという3つの言葉です。「悔しい」ということは、悲しいでなく、津波によって大事な人を失ったことに対する“自戒の念”。だから同じ誤りを二度と繰り返してはならない（津波から逃げる、逃げられる）という強い意思の表れでした。「ありがとう」は、一つひとつの支援への“心からのお礼”でした。私は毎日何回も聞く度に、このありがとうという言葉が被災者の方が言わなくても済む日が1日も早く来ないだろうかと強く思った時期がありました。そして「微力は無力でない」は、私たちのボランティアの合言葉です。

被災地の復興にはまだまだ時間が要します。構造物の再建はこの数年でできるでしょう。これはあくまで手段であって、人が幸せと感じる“コミュニティの輪”や“動き、つくる喜び”そして“後世に伝えたい”と頑張っている若者に多く出会えた一年でした。今年はその若者を応援する年にしようと振り返りました。

（岩手県遠野市に常駐する
パルコープボランティア事務局・林さんより）



ずっとボラの会（東北応援バス参加者の有志の会）よりお知らせ

<今後の予定> ぜひ、お立ち寄りくださいね。

日程	会場	時間
2月5日(日)	枚方公園店	時間はいずれも10時～15時です。
3月5日(日)	東都島店	

店頭で東北グッズ販売と募金活動などを行いました。
◎よどがわ防災まつり(2016年12月10日)売上げ45,780円と募金1,751円
※枚方まちづくり連絡会有志が販売
◎つるみ店(1月8日) 売上げ49,890円と募金6,044円(芋煮募金532円含む)

ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2016年3月21日～2016年12月20日)
20,641,105円（この金額には2015年度繰越金・注文書での募金・店舗などに設置の募金箱・ずっとボラの会での物販などを含みます）

※東北応援に関する情報はホームページでも見ることができます。http://www.palcoop.or.jp/shinsai/higasinihon/
※パルコープの店舗一覧はこちら。http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html

2017年度は「東北応援バス」と 「東北スタディ研修“民泊”」を企画します

東日本大震災のあった2011年の翌2012年度より始まった「関西3生協・東北応援バス」は、現地の状況に合わせてこれまで継続してきました（旧岩手ボランティアバスからのべ62回・2,575名参加）。2017年度は、これまで同様の「東北応援バス」とあわせて、要望が多かった「もつと現地の方と交流をしたい」の声に応えた、現地の方の家に宿泊してお手伝いを行う「民泊」企画も実施します。

震災から6年が経過し、被災地の状況も大きく変化しています。東北被災地の復興状況を踏まえ2018年度以降は、関西3生協としての「東北応援バス」は、今年度をもって終了し、現地での活動から関西でできる活動を重点にしていきます。



よどがわ生協・ならコープ合同企画

お1人でも
ご家族でも

2017年度 第1回「東北応援バス」お知らせ



◀漁港で「ホタテ養殖」のお手伝い(大槌町)
(2016年3月のようす)

詳しくは
別チラシ

【日程】3月31日(金)～4月3日(月) 【申込締切】2月24日(金)

【定員】30名(3生協定員・最少催行人員15名)

今までに参加された方も、申し込みを受付けています。定員を超えた場合は抽選となります(初めてのほうが優先です)。

【参加費】中学生以上 お1人 29,700円
小学生5・6年生 お1人 26,700円
※小学生はかならず保護者同伴でご参加ください
※4月から新5年生になる方は含みません

【行程】3泊4日(車中2泊)・大型観光バスで行きます

【参加条件】組合員さん、及びその家族で
安全上、小学校5年生以上の方。複数名参加可。

【申し込み・問い合わせ】

組合員サービスセンター ☎0120-299-070

携帯・PHSからは ☎072-856-7671(有料)
(月・土 9:00～17:00 火～金 9:00～18:00)

〈ホームページの専用フォームからも申し込みます〉

https://welcome.palcoop.or.jp/form/apply/tohoku_bus/

カメラ機能のある携帯電話はこれを読み取るとホームページにつながります↑

生活協同組合おおさかパルコープ 大阪市都島区東野田町1-5-26

大阪府知事登録旅行業第2-1360号 総合旅行業務取扱管理者 山根洋子

取消料について

旅行開始日の前日	旅行開始日の前日	旅行開始日の前日
1)21日目に当たる日以降の解除	旅行代金の20%	
2)20日目に当たる日以降の解除	旅行代金の30%	
3)19日目に当たる日以降の解除	旅行代金の40%	
4)18日目に当たる日以降の解除	旅行代金の50%	
5)17日目に当たる日以降の解除	旅行代金の100%	
6)旅行開始日の前日の解除	旅行代金の100%	

この企画は、当生協「旅行業約款(募集型企画旅行契約)」によります。